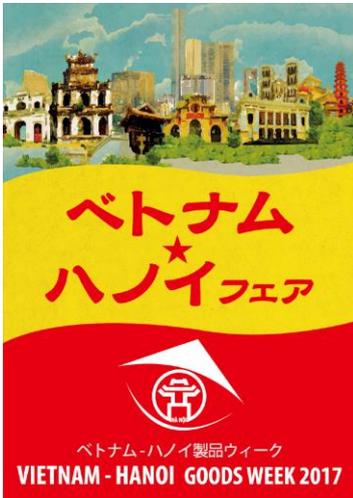


2017年6月1日
イオン株式会社
イオンリテール株式会社

世界のいいものイオンから！ベトナムのおいしい、かわいい大集合！
「イオンワールドフェスタ ベトナム・ハノイフェア」
6月5日から1週間イオンレイクタウンで開催！

イオンは、6月5日（月）から11日（日）まで、イオンレイクタウン mori（埼玉県）において、3回目となる「イオンワールドフェスタ ベトナム・ハノイフェア」を開催します。さらにフェア期間中の7日（水）には、ベトナムからの来賓による記念セレモニーの開催とともに、ベトナムから訪日中の企業約40社様とイオングループのバイヤーが商談会を実施します。



☆☆☆ ベトナム・ハノイフェア ☆☆☆

▼イオンレイクタウン mori 内イオンスタイルレイクタウンで販売する商品の一例

- **ベトナムの味を気軽に楽しもう！**
ベトナムを代表するフルーツのひとつ「**ドラゴンフルーツ**」(写真①)は皮も剥きやすく手軽にお楽しみいただけます。また、エースコック「**HaoHao**」(写真②)は、ベトナムで大人気の袋麺です。このほか、ベトナムビールの代表格「**333 (パーパーパー)**」(写真③)など、ベトナムで長く愛される味をご用意しました。
- **ベトナムの華やかな花の彩りを食卓に！**
菊の栽培に適したベトナムで丁寧に育てられた「**スプレーマム**」(写真④)は、花持ちがよく、暑い時期にも長く楽しめるお花です。



①

ドラゴンフルーツ (赤)

本体価格 298円
(税込 321円)



②

エースコック
HaoHao Tom Chua Cay

本体価格 98円
(税込 105円)



③

ビール 333 (瓶)

本体価格 328円
(税込 354円)



④

スプレーマム

本体価格 298円
(税込 321円)

また6月5日（月）に、イオン株式会社はベトナム社会主義共和国ハノイ市人民委員会と「投資及び事業推進に関する包括的覚書」の調印式を実施します。

本覚書の締結を機に、ハノイ市人民委員会とイオンはこれまで以上に連携し、ベトナムのお客さまの豊かな暮らしの実現に向けて、新しいサービスの創出や、ベトナム経済の活性化にグループを挙げて取り組んでまいります。

【フェアについて】

開催期間：6月5日（月）から11日（日）

※初日の5日（月）は13時から開催です。

開催店舗：イオンレイクタウン mori（埼玉県越谷市 レイクタウン3丁目1番地1）

※商品、イベントは日によって異なります。

▼記念セレモニー

日 程：6月7日（水）9：45～10：10

会 場：イオンレイクタウン mori 木の広場

出席者：ベトナム社会主義共和国 ハノイ市人民委員会 委員長 ^{グエン ドク チュン} Nguyen Duc Chung

イオン株式会社 代表執行役社長 岡田 元也

イオン株式会社 ベトナム事業担当 兼 イオンベトナム株式会社 代表取締役社長 西峠 泰男

イオンモールベトナム株式会社 代表取締役会長 兼 社長 岩村 康次

▼イオンベトナム商談会

日 程：6月7日（水）11：00～17：00

会 場：イオンレイクタウン mori 木の広場

参加企業：ベトナム・ハノイ市の企業様約40社（予定）

イオングループのバイヤー 等

【包括的覚書調印式について（JETRO主催）】

日 程：6月5日（月） 14：00～

会 場：ホテルニューオータニ（東京都千代田区紀尾井町4-1）・宴会場「鶴の間」

ご参考

【ベトナムでの現在の出店状況について】

<GMS・SC>

■イオンベトナム 4店舗

■イオンモールベトナム 4カ所

2014年1月 イオンモール タンフーセラドン開業

2014年11月 イオンモール ビンズオンキャナリー開業

2015年10月 イオンモール ロンビエン開業

2016年7月 イオンモールビンタン開業

<SM・CVS>

■AEON FIVIMART 26店舗

■AEON CITIMART 30店舗

■ミニストップ 81店舗)

*(2017年6月5日時点)

【アセアン事業店舗一覧】

法人名	合計	GMS	SM	その他	HP	モール型 SC 運営数
イオンマレーシア	85	32	3	50	—	26
イオンビッグマレーシア	22	—	—	—	22	1
イオンタイランド	79	—	79	—	—	—
イオンベトナム	4	4	—	—	—	—
イオンカンボジア	3	1	2	—	—	—
イオンインドネシア	1	1	—	—	—	—
イオンオレンジ	14	—	14	—	—	—
AEON Citimart	30	—	28	2	—	—
AEON Fivimart	26	—	26	—	—	—
イオンモール(アセアン)	—	—	—	—	—	6
アセアン事業計	264	38	152	52	22	33

【公益財団法人イオン環境財団について】

当財団は「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、1990年に設立されました。以来、環境活動に取り組む団体への助成・支援、国内外での植樹活動、生物多様性の保全などに貢献した団体・個人への顕彰、環境人材育成のための環境教育を主な事業として、さまざまな環境・社会貢献活動に継続し取り組んでいます。

<公益財団法人イオン環境財団ホームページ> <http://www.aeon.info/ef/>

■植樹活動

「ベトナム ハノイ桜植樹」

ハノイ市人民委員会は昨年、環境保全活動の一環として「ハノイ市100万本植樹計画」を発表し緑化活動を推進しています。アジアを中心に世界各国で環境保全活動に取り組んでいる当財団では、ベトナムにおいては、フエ省 ランコービーチにて2010年より3年間で75,000本、ハノイ市郊外 バ・ヴィ国立公園にて2014年より3年間で15,000本を植樹しました。ベトナムと日本両国のボランティアは6年間で3,200名にのぼっており、これまで植樹した苗木は森に成長し、両国友好のシンボルとなっています。



「ベトナム フェ植樹」

ベトナム中部に位置するフェ省は、ベトナム最後の王朝グエン王朝の都であり、ベトナム初の世界遺産に登録されました。フェ省のランコー地区はリゾート開発が進められていますが、雨季に川が増水し、市街地の家屋が浸水する被害が多発していました。ここに美しい水辺を取り戻すため、当財団は5年計画で植樹・育樹を実施しました。2010年～2012年の3年間、日本とベトナムのボランティアのべ1,500名とともに、計75,000本を植樹しました。



「ベトナム ハノイ植樹」

ハノイ郊外に位置するバ・ヴィ国立公園では、ベトナム戦争時の爆撃被害や戦後復興時の住宅・家具等への材木利用、及び近隣住民による生活伐採によって荒廃した森が放置されてきました。当財団はベトナム国家大学ハノイ校と協力し、森の再生植樹を実施するとともに、地域の学生や住民への環境教育を支援することにより公園内の豊かな自然の回復を目指して、2014年～2016年の3年計画で植樹を行いました。日本とベトナムのボランティアのべ1,500名の皆さまとともに計15,000本を植樹しました。



■生物多様性アワード

当財団は、2010年に名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催されるのに先立ち、2009年に環境省との共催で国内賞「生物多様性日本アワード」を創設、また2010年には当財団設立20周年を記念し、国際賞「The MIDORI Prize for Biodiversity（生物多様性みどり賞）」を創設しました。以来、国内賞と国際賞を交互に隔年で実施しています。生物多様性に関して積極的な活動に取り組む国内の団体や、世界・地域レベルで顕著に貢献している個人を顕彰することで、生物多様性についての関心を高めることを目的としています。

第2回生物多様性みどり賞（2012年）では、戦争で疲弊した国土の緑化を通じて他の開発途上国における自然環境保全・修復の手本を示し、破壊された自然の再生に取り組まれたベトナム国家大学ハノイ校自然資源管理・環境研究センター名誉総長 ポ・クイ氏を顕彰しました。同氏の受賞をきっかけに、2013年からベトナム国家大学ハノイ校が「アジア学生交流環境フォーラム（ASEP）」に参加し、さらに2014年からの「ベトナム ハノイ植樹」へとつながりました。

■環境教育「アジア学生交流環境フォーラム（ASEP）」

環境分野においてグローバルなステージで活躍する人材育成を目的に、2012年より10年計画でASEPを開催しています。アジア各国の大学生が集まり、それぞれの国の自然環境や歴史、文化、価値観の違いを学びながら、生物多様性について意見を交換し学び合います。

第4回となる2015年は、ベトナム、カンボジア、中国、日本、韓国、マレーシアの6カ国72名の学生がベトナムに集まり、「生物多様性と人」をテーマに自然との共生についてディスカッションを重ねました。同年の教育プログラムは、ベトナム国家大学ハノイ校監修、早稲田大学協力によるもので、参加者は世界遺産ハロン湾などでのフィールドワークや有識者からの講義、地域の方々へのインタビューなどを通して環境への理解を深めました。



2015年8月 イオンモールロンビエンでの植樹

【公益財団法人イオンワンパーセントクラブについて】

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ（以下、イオン1%クラブ）は1989年に設立されました。イオングループ主要企業が拠出した税引き前利益の1%を原資に、「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」を事業目的として、アジアを中心とした各国においてさまざまな活動を行っています。
<1%のHP : <http://aeon1p.or.jp/1p/>>

■ティーンエイジ アンバサダー（日本 ベトナム）

1990年より、アジア各国と日本の高校生が互いの国への訪問を通じて交流する「ティーンエイジアンバサダー」事業を実施しています。自国を代表する小さな大使（アンバサダー）として、両国の政府、大使館への表敬訪問、授業体験やホームステイを通じて国際的な相互理解と親交を深めるプログラムです。

ベトナムとの相互交流は2007年、2013年に続き、2017年に3回目を実施しています。1月に行った日本での交流に続き、3月13日（月）から3月20日（月）まで、日本の高校生16名がベトナムを訪れ、同国の高校生16名と再会します。ベトナム政府への表敬訪問や現地のくらしを体感するホームステイ、ベトナムの伝統工芸体験など、ベトナムの文化や価値観に触れる活動を行い、さらなる相互理解と友好関係の深耕を図ります。

■学校建設支援事業

2000年より、お客さまや従業員から寄せられた募金にイオンがほぼ同額を拠出し、学校建設の支援をはじめ、学習に必要な教材の提供や教員の育成プログラムなどの支援を行っています。ベトナムでは、フエ省人民委員会の協力の下、2010年から2013年にかけて30校の小学校建設を支援しました。

■イオン スカラシップ

2011年、給付型奨学金制度「イオン スカラシップ」をスタートし、ベトナムではハノイ人文社会科学大学、ハノイ貿易大学、ホーチミン市人文社会科学大学、ホーチミン市教育大学において、これまでにのべ621人の学生に奨学金を付与しています。また、同年にはイオンがホーチミン市人文社会科学大学と「人材の採用」「小売の発展をテーマとした共同研究」「インターンシップの受け入れ」などの取り組みを含めたパートナーシップを締結しています。



■アジア ユースリーダーズ

2010年、2011年、2014年にハノイ市及びホーチミン市にて「アジア ユースリーダーズ」を開催しました。同プログラムは、次代を担う日本と海外の学生が一堂に会し、開催地の社会問題をテーマに視察・ディスカッションを行い、問題の改善に向けて、政府に提案するものです。多国間での議論を交わすことで、グローバル感覚や異なる価値観を認め合う姿勢を養います。